

平成25年度
私立学校初任者研修 関東地区神奈川県研修会
実施報告概要

神奈川県の本年度初任者研修会は8月22日(木)～23日(金)の2日間、横浜市の神奈川県私学会館で開催され、127名が参加した。

1日目には、開会式に続いて、神奈川県私立中学高等学校協会理事長で聖光学院高等学校、工藤誠一理事長校長による講演「私学教育の現状と私学人の使命」では、私学と公立の違い、私学を取り巻く喫緊の課題等、講演内容は多岐にわたり、私学にとって重要なことばかりであった。

次に、文化学園大学杉並高等学校、野原明名誉校長による「教育をとりまく状況と私学の教員」と題する講演では、学習指導要領とPISA型学力についての問題など、教育界を取り巻く社会の動きについて詳細な説明がなされた。

午後からのシンポジウムでは、「新任教員が今一番聞きたいことー4ヶ月を経験してー」という協議題で、桐光学園中学高等学校、上田武夫教諭、鎌倉学園中学高等学校、小林由貴子教諭、捜真女学校中学高等学部、白須礼子教諭、横浜清風高等学校、横内敦教諭、浅野中学高等学校、吉澤久光教諭、横浜雙葉中学高等学校、鷺津真理子教諭、カリタス女子中学高等学校、村井幹子前校長の先生方によって、未来の日本を担う私学教員のあり方が議論された。



続いて、国連開発計画（UNDP）親善大使としても活躍している女優の紺野美沙子氏の講話「私の理想の教師像ー女優として、国連親善大使として思うことー」では、自身の学生時代の体験などを交え、教育への思いを語っていただいた。受講生たちは身を乗り出すようにして耳を傾けていた。

2日目は、終日グループ討議が行われた。午前中は生徒指導、午後からは教科指導について、少人数のグループに分かれて、それぞれのテーマについて話し合いがもたれた。

閉会式では、当研究所の山崎吉朗専任研究員による研修会の総括を交えた閉会挨拶の後、参加者代表に修了書が授与され2日間の研修会は終了した。



閉会式終了後、参加者及び運営委員を交えて夕食を兼ねての経験交流会が催され、限られた時間ではあったが初任者にとってはコミュニケーションの場として有意義なひとときとなった。